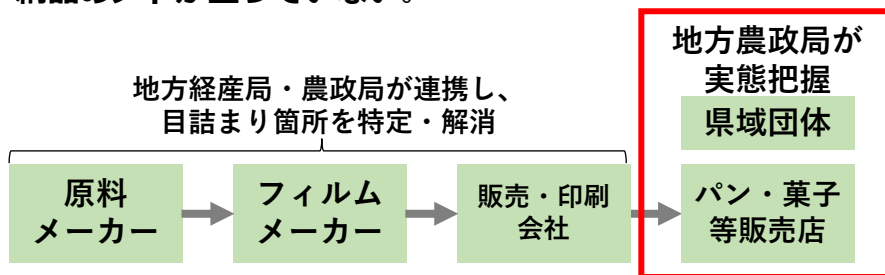


## 1. パン・菓子等販売店の実態把握・目詰まり解消

- 地方農政局において、**県域レベルの全ての団体と意見交換**を行い、**パン・菓子等の包装資材に係る概況を把握**。**個々のパン・菓子等販売店に対しても直接の聞き取り**を実施。
- 引き続き、**個々のパン・菓子等販売店に対する丁寧な聞き取り**を通じて、具体的な状況を把握。目詰まり等を確認した際には、地方経済産業局と連携し、**きめ細かく、迅速に対応**することで、**供給の偏り・流通の目詰まりの解消を加速化**。

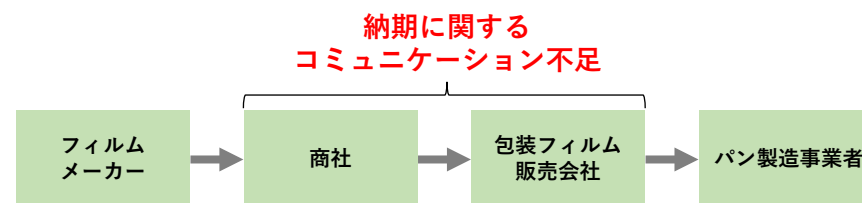
### 意見交換・聞き取り結果（本省・地方農政局）

- 県域レベルの団体との意見交換では、**パン袋や手袋等の一部資材に供給制限や納期遅れが生じている**との声を把握。
- これまで、個々のパン・菓子等販売店への聞き取りでは、**目詰まりが生じていた事例を12件確認**（パン：7件、菓子：5件）。主な聞き取り事例は下記のとおり。現在、**サプライチェーンを遡って目詰まり原因の調査を実施中**。
  - ・ **プリン**のプラスチック容器について、供給制限されている。
  - ・ **手袋**について、10ケース発注しても1ケースしか届かず、**1か月後に在庫が切れる可能性**。
  - ・ **まとめ売り用の大袋やスライスした食パン用の袋**について、**納品のメドが立っていない**。



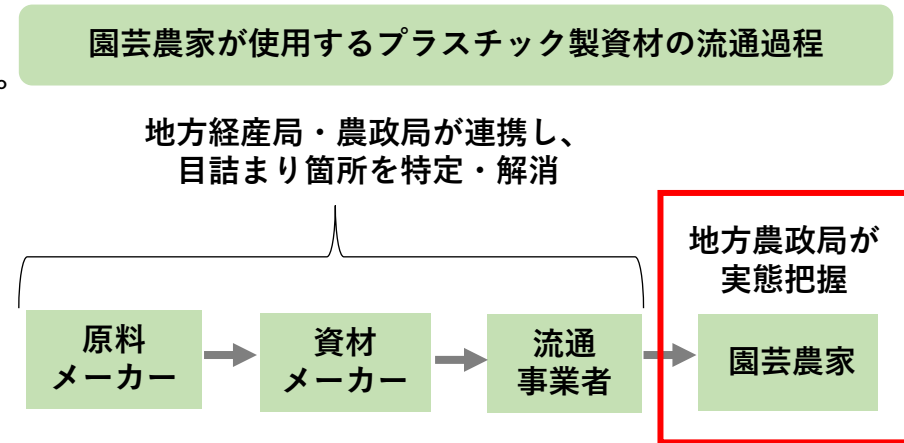
### 目詰まりの主な原因と解消事例（包装フィルム）

- **事業者間でのタイムリーなコミュニケーションが不足していた事例（3件）**（本省と地方農政局が連携して対応中）
  - ・ 給食用パンの**包装フィルム販売会社**が、上流の商社から次のフィルムの納入日を明示されていなかったため、**パン製造事業者に対して、「6月以降の納品は未定」と説明**。
  - ・ 経済産業省と連携し、フィルムメーカーに確認したところ、少なくとも6月中の供給見通しは立っており、商社に対しては次期納品日を伝えていることを確認。
  - ・ 関係者に情報を共有し、**6月末まで給食用パンを継続して提供可能**となった。
  - ・ 引き続き、7月以降も包装フィルムが継続して供給できるよう、**地方農政局がフォローアップを実施**。



## 2. 川中・川下の流過程における「目詰まり対策」の強化 ～園芸農家～

- **園芸分野**では、農産物の生産・流通のために、農業ハウス用ビニール、出荷用の包装資材など**多様なプラスチック製資材を使用**。
- また、**副大臣・政務官が大型連休中に収集した事業者・団体からの声**においても、園芸分野の資材に関する声を把握。
- 今後の作付けに向け、**各都道府県の園芸農家が使用するプラスチック製資材の供給実態の把握を強化し、地方農政局が地方経済産業局と連携して目詰まり箇所を特定・解消**。



## 3. 燃料の漁協への直接販売の事例 ～全漁連との連携～

- 和歌山県内の複数の漁協から、**「漁船の操業に必要なA重油が確保できていない」との御相談が集中的に寄せられた**。
- 各漁協への直接販売を実施するに当たり、**全漁連が仲介することで、迅速な供給が実現**（物流上は、石油元売から各漁協に直送）。
- 今後もこうした連携を促進し、目詰まり案件の効率的な解消を図る。

